

認知症予防プログラムによる高齢者の健康づくり（認知症対策連携強化事業による）

施策のポイント

認知症疾患医療センターや町内の介護事業所、専門職、地域代表者と協働して「プログラム」を作成し、地域のリーダーがプログラムにより実践する。小集落で行うことにより、生活の中に健康づくりを根付かせることを狙う。またプログラム作成に携わることで、介護従事者等のスキルが向上し連携も深まる。

自治体情報

鳥取県 南部町

人口 / 11,786人

標準財政規模 / 4,502,027千円

担当課 健康福祉課

電話番号 直通 0859-66-5522 内線 133

実施主体 南部町

関連ホームページ

事業期間 平成 21 年度から平成 23 年度まで

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

少子高齢化の進む当町では専門職だけによる認知症ケア、予防施策には限界がある。今後認知症の増加が見込まれる中で地域住民の理解を深め、住民が自分の問題として認知症を捉え、現在介護を行っている家族のケアや認知症の予防の取組みに参加していく仕組みが必要である。

2 取り組みの具体的内容

参加の容易な公民館単位で地域住民が中心となって認知症予防を行うことができるプログラムを作成し配布する。認知症予防には総合的な健康づくりが必要であることから運動、栄養、口腔、認知機能訓練を網羅し生活の改善を目指す。作成は地域の専門家に依頼し、プログラム導入の際の認知症の啓発・評価に医療、保健の協力を受ける。

プログラムをモデル地域（2ヶ所想定）で実施し、実施期間3ヶ月間で効果測定を行う。対象は該当地域の65歳以上の高齢者とし、一般高齢者と認知症のハイリスク高齢者を区別せず実施する。

モデル事業後にプログラムの効果検証と町民に対する広報を行い、その後参加の意向のある他地域に随時開催を行っていく。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- (1) 地域の65歳以上高齢者の認知機能テストを行うことで、地域の認知症患者数、ハイリスク者の数を把握できる。
- (2) 町民の健康に関する意識を高め認知症の予防を生活の中で意識できる。
- (3) 認知症に対する理解を深め認知症の方・家族に適切に対応できる。

4 現在までの実績・成果

健康づくりプログラムについて地域住民組織と対話を行い、協力の依頼と地域が望む認知症予防のあり方について聞き取りを行った。

健康づくりプログラム作成にあたって町内の専門職（医師、作業療法士、音楽療法士、健康運動指導士など）に協力を依頼し検討会を開催した。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

行政が事業を行う訳ではあるが、行政主体では住民が健康づくりを受身で考えることにつながり、目標とする「自分の健康を自分で守る」考え方をってもらうことは難しいと考える。検討段階から地域組織と協働して作り上げることを意識している。

6 今後の展開と課題

住民の認知症に対する理解・関心が低く啓発に努める必要がある。特に労働世代や学生が今後認知症を支える役割を担っていくことから、町全体を巻き込み認知症という言葉にいつも触れることのできる取り組みが有効であると考え。このプログラムは予防の視点から認知症にアプローチするもので、世代を超えて認知症、健康づくりについて日常の中で考える機会をつくり、認知症予防から地域の新たな交流を生みだしていきたい。

23年				22年											
2月	1月	12月	11月	10月	7月	6月	4月								
<p>講演会開催</p> <p>* 事業報告、プログラムの公表</p> <p>* 地域の協力の必要性について説明！徘徊モデル事業など検討</p>				<p>認知症予防プログラム（ポピュレーションアプローチ含む）</p> <p>プログラムの作成</p> <p>【自主化のできる低リスクの活動】</p> <p>* 作成プロジェクトチーム編成（病院、社協、介護保険施設等に声かけと参加要請）</p> <p>* 目的を健康づくりのプログラムと位置づけ、運動、知的活動、栄養、口腔など幅広く検討する。</p> <p>* モデル地区での実施準備（映像、音響、説明書作成と推進員対象の研修の検討）</p>				<p>認知症予防教室（プログラム実践モデル）</p> <p>モデル地区の選定</p> <p>* 2箇所目標</p> <p>モデル地区（1〜3カ月）</p> <p>講演会開催（医師）</p> <p>【同時開催】</p> <p>事前アンケート</p> <p>M M S E テ ス ト</p> <p>事後アンケート</p> <p>生活のアドバイス</p> <p>事業評価</p>				<p>地域振興区との談話・協議の機会を持つ</p> <p>【地区担保医師の協力を仰ぐ】</p> <p>* 取り組みに対しての理解を頂く</p> <p>* 各振興区の予防についての考え方を確認する</p> <p>* 予防プログラムの実施モデルについての協力を依頼する</p>			
<p>教室終了</p> <p>M M S E テ ス ト</p> <p>教室の説明</p> <p>（タッチパネル）</p>				<p>推進員の研修（1日）</p> <p>* 予防の必要性と開わり方についての学習。プログラムの体験。教室の進め方の提案など。</p>				<p>モデル地域より事業推進員（以下推進員）の募集</p> <p>* モデル事業を週1回開催の設定のため、最低4人を募集する</p>							
<p>各地域の推進役（健康増進員など）の協力を依頼。プログラムの研修。</p>				<p>各振興区と予防プログラムの依頼。導入に向けた協力の依頼。</p>				<p>事業評価を振興区、推進員と開催</p>							

予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
100千円		100千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①～④の名称、 所管など	名称	認知症対策連携強化事業				
	所管	厚生労働省				
	金額	100千円				
	補助率	100%				